

# 商品市況展望

平成 25 年 6 月 30 日記

2013年(平成25年)6月28日(金曜日)
日本経済新聞社 2013 (日刊)

**割高**  
値上げの動き **商品**

**法曹の誤算**  
弁護士、見えぬ将来 **社会**

# 金、マネー流出続く

## 新興国変調やドルへの回帰

**3年ぶりの安値圏**

NY金 **36%下落**

欧州債務危機  
マン・マング  
・緩和縮小の観測  
・米国の量的緩和策

金	36%
プラチナ	31%
銅	33%
アルミニウム	36%
原油	19%

**銅・白金も大幅安**

4・2%下がった。11年2月には比べて約割安。11年9月の最高値から38%の大幅な下落。27日はやや買戻されたが、なほ1・2%前後の安値圏に安・ドル高の影響で下げ幅は小さいが、それでも27日は1.533.95円と

金価格の急落は、26日に一時1.531.22ドルを下げ、前日比で27日は1.533.95円と

**給油所安値の調達容認**

仕入れ制限 元売りに是正要求へ

**日立ソリューションズ**

HITACHI  
ハイブリッド  
インターネット  
ソリューションズ  
日立ソリューションズ  
www.hitachi-solutions.co.jp

相談のお申し込み  
0120-21-4946  
http://www.rishin.co.jp/

日経電子版  
http://www.nikkei.com/  
0120-24-2146

# 日本経済新聞

6月28日  
金曜日

発行所 日本経済新聞社  
東京本社 電話03-3270-0151  
印刷工場 東京千代田区大塚町1-3-7  
大阪本社 電話06-6943-7111  
名古屋支社 電話052-243-3211  
西部支社 電話092-473-9300  
札幌支社 電話011-251-5211

HITACHI  
ハイブリッド  
インターネット  
ソリューションズ  
日立ソリューションズ  
www.hitachi-solutions.co.jp

相談のお申し込み  
0120-21-4946  
http://www.rishin.co.jp/

日経電子版  
http://www.nikkei.com/  
0120-24-2146

期待も、国  
マネーの流  
た。18、19  
開市場急落  
で景気回復  
和の年内順  
てから、新  
に拍車がか

これは、6/28 付の日経新聞朝刊一面だ。この後の金相場は、ダメ押しのような下げで 150 円安の CB を記録で、安値では 4,750 円を記録した。

この記事の中での「新興国の変調＝中国バブルの崩壊予測で、金の需要は落ちるだろう」というもの。また「ドルへの回帰＝米金融資本は、金よりもドル債や株を買ってもらいたい」、という宣伝である。

こんな事は、もう随分前からレポートしているわけだが、今は金を下げたい勢力が優っているという事だ。ただし相場では、こんな風に新聞トップになると、「出たら終い」とも言われるが、さて？

## 〔貴金属〕

○東京金日足

…削除済み…

### 今週の金の値動き

	6月限(当限)	前日比	4月限(先限)	前日比
6月24日	¥4,065	-9	¥4,067	-20
6月25日	¥4,014	-51	¥4,022	-45
	8月限(当限)	前日比	6月限(先限)	前日比
6月26日	¥3,930	-89	¥3,992	
6月27日	¥3,910	-20	¥3,915	-17
6月28日	¥3,831	-79	¥3,836	-79

金相場は、先週号においては『4,000円割れは長い目で見れば底値圏ではあろう。ただし週末の下落で完全に底打ちしたかどうかは、まだ不明であろう。戻りは売られて、2番底を付けるとは見ている』とコメントした。

今週の相場展開は、断続的に下落した相場が週末には安値で3,750円まで記録。5月の戻り高値からでも1,000円以上の下落、4月の高値からだとも1,300円以上の下落を演じる事となった。

5,000円台まで上がっていた金相場が、変調を来たしたのは4月15日(月)である。(実際には4/12(金)の夜であるが)たった2日間で、およそ900円の下落を演じたわけである。

4/16の安値は4,132円であるが、ここから5/10の4,760円まで600円以上戻り、ここで金は我慢して買いを維持していれば何とかなるのだ、という潜在意識を植えつけられた人が多かったようである。それがこの6月以降の急落相場を演出したわけである。

結果として金は、この6月だけで800円超の下落。5月の戻り高値からだとも1,000円超の下落。4月の5,000円台の高値からは1,300円超の下落である。…中略…

だが結論から先に言えば、今週末までの下落で金は底を打っただろう。大底がどうかは判らぬが、少なくとも目先底は打ったのではあるまいか。

すでに安値の3,750円からは80円以上戻し、夜間取引では続伸で3,900円台も回復である。相対力指数は18ポイント台まで下がり、そこから反発しているわけで、ここからは下げリスクよりも買いの期待の方が高まったと見ている。

ただし上値抵抗線はそれぞれ、…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

### 東京金一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013年6月	¥4,023	6月27日	¥5,068	2月7日	¥3,940	7月24日	¥4,014
2013年8月	¥4,224	8月29日	¥5,873	2月7日	¥3,765	6月28日	¥3,831
2013年10月	¥4,404	10月29日	¥5,077	2月7日	¥3,761	6月28日	¥3,834
2013年12月	¥4,519	12月25日	¥5,081	2月7日	¥3,745	6月28日	¥3,830
2014年2月	¥4,759	2月26日	¥4,979	3月21日	¥3,751	6月28日	¥3,836
2014年4月	¥4,585	4月25日	¥4,760	5月10日	¥3,749	6月28日	¥3,835
2014年6月	¥4,031	6月26日	¥4,033	6月26日	¥3,750	6月28日	¥3,836

○NY 金日足

…削除済み…

6/28のNY市場では、前日比12.1ドル高の1223.7ドルでの終了。高値1234.8ドル、安値1179.4ドルの動きであり、上下幅55.4ドルの大きな動き。為替は99円12銭と円安であるため、国内換算では72円高となる。この分は夜間取引で織り込み済みである。

チャートでは…中略…

元々、NY金に関しては『下手すれば安値は1200ドル割れ』とずっとコメントして来ているわけであるし、そこまで下げても驚きはしない。ただしそこまで下がるのなら円安であるはずで、○1180ドル×100円÷31.1035=3,793円となる。その辺りが理論上の底値か。

相場には行き過ぎというものもあるので、更に数十ドルの下落が絶対ないとまでは言わないが、週末の安値3,750円というのはこの予想通りの価格なのである。

なおCFTC発表の6/25現在のファンドのポジションは、…中略…

また6/21現在でのETF残高は、…中略…

つまり金の現物買い人気は、離散したままという事だ。ではその金はどこに消えたのかといえば、中央銀行の保有に、である。米金融資本は金にではなく、ドル債や株に投資して欲しいのだから、率先して金人気を低めようと策動しているのだろう。

結論として当方の相場観は、3,750円にストップロス置いて、ここからは買い方針。上がったモノは下がる、下がったモノは上がるのが相場の鉄則ゆえ、ここからは何度もストップロスを駆使しながらでも、買い狙いに転換は当然であろう。

○東京プラチナ日足

…削除済み…

今週のプラチナの値動き

	6月限(当限)	前日比	4月限(先限)	前日比
6月24日	¥4,320	-5	¥4,339	-10
6月25日	¥4,180	-140	¥4,224	-115
	8月限(当限)	前日比	6月限(先限)	前日比
6月26日	¥4,165	-42	¥4,196	
6月27日	¥4,205	40	¥4,214	18
6月28日	¥4,173	-32	¥4,192	-22

プラチナ相場は、先週号においては『週末の暴落でアク抜けしたか。もっとも戻りは売られて2番底は付けるだろうから、チャートに従っての戦略が重要だろう』とコメントした。

今週の相場展開は、先週末に4,189円まで下げた後に4,400円近くまで戻した相場だったが、もう一度金下落とともにダメ押し下げとなり、4,125円(6/27)まで大きく下落。しかし週末は安値更新せずに終わる事となった。また週末の夜間取引では4,300円台まで戻している。

結論から先に言えば、4,189円で底、4,125円で2番底と判断しても良いのではあるまいか。ただしまだ4,400円台は上値抵抗を受けそうだし、4,600円以上はかなりの壁であろう。またもう一度ダメ押しして3番底～相対力指数の逆行というパターンも無しとはしない。

…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京プラチナー代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013年6月	¥3,681	6月27日	¥5,267	2月7日	¥3,460	7月24日	<b>¥4,180</b>
2013年8月	¥3,860	8月29日	¥5,274	2月7日	¥3,807	8月31日	¥4,173
2013年10月	¥3,998	10月29日	¥5,288	2月8日	¥3,933	10月30日	¥4,178
2013年12月	¥4,249	12月25日	¥5,300	2月8日	<b>¥4,122</b>	6月27日	¥4,179
2014年2月	¥4,831	2月26日	¥5,052	3月12日	<b>¥4,125</b>	6月27日	¥4,187
2014年4月	¥4,622	4月25日	¥4,999	5月16日	<b>¥4,109</b>	6月27日	¥4,189
2014年6月	<b>¥4,284</b>	6月26日	<b>¥4,303</b>	6月26日	<b>¥4,125</b>	6月27日	¥4,192

4,100円台は底値圏であると思っているものの、最悪のケースは金のように全限一代安値の更新となるならば、やはり期近8月限の一代安値である3,807円の更新であろう。いっぺんにそういうところまで下がるような気はせんが、頭の片隅には置いておきたい。

また週末現在のサヤは、4,192円(プラチナ) - 3,836円(金) = 356円。…中略…

結論として当方の相場観は、4,125円で2番底を打ったであろう。ここからはストップロスを設定しての買い方針であり、4,400円台への戻りを狙う相場であろう。だが4,125円が大底とは限らず、もう一度安値更新をする可能性は皆無ではないので、大きく戻したら売りも可であろう。

## 〔穀物〕

○東京コーン日足

…削除済み…

今週のコーンの値動き

	9月限(当限)	前日比	7月限(先限)	前日比
6月24日	¥32,110	210	¥27,970	-80
6月25日	¥31,830	-280	¥27,790	-180
6月26日	¥31,360	-470	¥27,480	-310
6月27日	¥31,220	-140	¥27,490	10
6月28日	¥31,400	180	¥27,640	150

まずはコーンから…

先週号においては『今週大きく戻した相場であるが、この戻りは一過性のものであろう。これは戻り売りの好機と捉えており、売り中心の逆張りの継続がベターであろう』とコメントした。

今週の相場展開は、予想通りに先週末の戻り高値である **28,410 円** から下げ始めた相場が、**27,410 円 (6/27) まで下落**。ちょうど1,000円下げ、週末は小反発である。

チャートではちょうど一目均衡表の雲で支えられたところであり、…中略…

結論から先に言えば、**28,970 円は天井**だと思っているし、だがそんなに暴落する相場ではないだろうという考えである。戻った場面で売り、下がれば利食い買い戻しの、小幅すくいの先方しかなかるうというのが、当方の見方である。

なお一代の動きは以下のとおりである。

東京コーン一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013年9月	¥28,500	8月16日	¥33,570	6月3日	¥25,510	10月1日	¥31,400
2013年11月	¥25,600	10月16日	¥28,910	5月30日	¥24,420	11月14日	¥27,400
2014年1月	¥25,700	12月17日	¥28,600	6月3日	¥24,930	12月21日	¥26,990
2014年3月	¥27,290	2月18日	¥28,750	6月3日	¥25,690	4月4日	¥27,460
2014年5月	¥26,550	4月17日	¥28,970	6月3日	¥26,200	6月17日	¥27,500
2014年7月	¥26,600	6月17日	¥28,410	6月21日	¥26,300	6月17日	¥27,640

○シカゴコーン日足

…削除済み…

週末6/28のシカゴ市場は、7月限で前日比12.00セント高の679.25セント。12月限では27.50セント安の511.00セント。

このチャートは期近引き継ぎ足なので、現在は7月限を示している。週末は高値で685セントまで上がっているゆえ、もみ合い上放れの様相である。

しかしあくまでもこれは東京でも31,000円台を記録している旧穀の話であり、新穀は週末も急落して5ドル台そこそこの価格である。

こうした新旧まちまちの動きとなった原因は、旧穀は四半期在庫の減少（27 億 6400 万 Bu と予想の 28 億 5600 万 Bu を下回る）であり、新穀は作付面積の増加（9740 万 Ac と予想の 9534 万 Ac を下回る）となったためである。

今のところ、米穀倉地帯の天候は順調だ。生産高の確定はまだまだ先だが、去年はホット&ドライで収穫減→在庫減となったわけだが、今年の収穫後は在庫増となるのは必至なわけで、だからこそ大きな逆ザヤとなっているわけだ。

だからこそ、国内相場も大幅逆ザヤで、6月に天井を打っていると当方は考えているわけだ。

なお CFTC 発表の 6/25 現在のファンドのポジションは、…中略…

結論として当方の相場観は、戻り売り継続の相場であろう。大暴落は考えづらいが、逆に急騰はもっと考えづらい。戻しては売られる、下に下への大名行列相場であろう。

○東京大豆日足

…削除済み…

今週の大豆の値動き

	8月限(当限)	前日比	6月限(先限)	前日比
6月24日	¥64,000	0	¥52,110	-190
6月25日	¥63,360	-640	¥52,110	0
6月26日	¥64,250	890	¥52,540	430
6月27日	¥63,400	-850	¥52,420	-120
6月28日	¥63,950	550	¥53,450	1030

続いて一般大豆です…

先週号においては『大きな相場の出現は無いだらう。逆張りながら、戻り売り中心での仕掛けで、小幅利食いに徹するのがベターであらう』とコメントした。

今週の相場展開は、週前半は軟化したもののさほど下がらず、週末は急騰して **53,640 円** と一代高値の更新。

特に強材料が出ているわけではないが、ファンダメンタルズの在庫率予測は昨年の **4.1%→8.1%** へと増えるものの、コーンの **6.9%→15.2%** への増加よりはマシとの判断からか、コーン売りに対するヘッジとして買われる傾向にあるのだらう。それがこの動きに繋がっているものと想定される。

ただし週末の夜間取引では、コーン同様に 640 円安と値を消しており、あくまでもコーンよりはマシという事で、当方は **6/3 の 55,380 円** で天井を打っているのだらうとの見方を取ったままだ。

なお一代の動きは以下のとおり。

東京一般大豆一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013年8月	¥48,020	8月16日	¥64,900	5月16日	¥47,500	11月13日	¥63,950
2013年10月	¥47,220	10月16日	¥67,810	5月29日	¥46,920	10月16日	¥67,300
2013年12月	¥50,680	12月17日	¥57,100	6月4日	¥48,450	1月9日	¥55,800
2014年2月	¥53,000	2月18日	¥55,010	6月3日	¥50,150	4月4日	¥53,670
2014年4月	¥50,910	4月17日	¥55,380	6月3日	¥49,850	5月2日	¥54,860
2014年6月	¥51,760	6月17日	<b>¥53,640</b>	<b>6月28日</b>	¥51,730	6月17日	¥53,450

旧穀は8月限、10月限の2本だ。それと12月限以降の限月は、全く違う商品と考えた方が無難である。

○シカゴ大豆日足

…削除済み…

週末6/28のシカゴ市場では、7月限で前日比16.00セント高の1564.50セント。11月限では23.25セント安の1252.00セント。

新穀・旧穀のサヤは更に拡大し、今や3ドル以上。このチャートは7月限を表示しているため、更に高値に舞い上がっている様に見えるわけだが、新穀はこの遥か下に位置しているわけだ。

週末のシカゴ市場で更に逆ザヤが拡大した要因は、四半期在庫が減少（4億3500万 Bu と予想の4億4100万 Bu を下回る）した事、作付面積も7770万 Ac と事前予想の7802万 Ac を下回ったが、天候が順調との事でコーン急落の影響を受けたこと、などが挙げられる。

なお CFTC 発表の 6/25 現在のファンドのポジションは、…中略…

結論として当方の相場観は、シカゴの期近の上昇、国内の大幅逆ザヤに惑わされてはいけない。先物引き継ぎ足では55,000円台で天井を打っている相場であり、戻り売り→突っ込み買いの逆張りを継続する相場であろうと見ている。

## [ゴム]

○東京ゴム日足

…削除済み…

### 今週のゴムの値動き

	6月限(当限)	前日比	11月限(先限)	前日比
6月24日	230.1	-1.9	231.6	-4.7
	7月限(当限)	前日比	12月限(先限)	前日比
6月25日	227.2	-1.7	230.5	
6月26日	225.0	-2.2	227.2	-3.3
6月27日	226.0	1.0	230.1	2.9
6月28日	232.3	6.3	236.3	6.2

先週号においては『戻り売り相場の継続だろう。242円をストップロスに、200円割れを目指す相場であろう』とコメントした。

今週の相場展開は、225.0円(6/25)まで下落の後、238.4円(6/28)まで13.4円の戻りを入れる展開となった。

2月の天井確認以来、一貫して戻り売りとなった相場が225円まで下落してきたわけだが、一番大きく戻したのは242.6円(4/18)→299.0円(5/13)までの50円超の戻りであった。

この299.0円は一目均衡表の雲の上限ギリギリのところであり、その後はWトップを完成させて、今週の安値まで70円超の下げを演じてきたわけである。

ファンダメンタルズでは、…中略…

さて高い時は500円超、安い場合は100円以下となるのがゴム相場であり、今はどう見ても右肩下がりの下げトレンドなのであるが、たまにはそれでも20円は戻すわけで、225円から20円戻せば245円である。

そろそろその辺まで戻してもおかしくないかもしれないし、…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

### 東京ゴム一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013年6月	286.0	12月21日	334.1	2月4日	222.0	6月21日	<b>230.1</b>
2013年7月	316.3	1月28日	337.8	2月6日	222.2	6月21日	232.2
2013年8月	301.0	2月25日	302.1	2月25日	<b>222.6</b>	<b>6月25日</b>	232.6
2013年9月	279.5	3月26日	297.7	5月13日	<b>221.9</b>	<b>6月25日</b>	232.3
2013年10月	253.7	4月24日	299.0	5月13日	<b>222.3</b>	<b>6月25日</b>	233.5
2013年11月	267.7	5月28日	274.8	5月29日	<b>223.9</b>	<b>6月25日</b>	235.3
2013年12月	<b>231.0</b>	<b>6月25日</b>	<b>238.4</b>	<b>6月28日</b>	<b>225.5</b>	<b>6月25日</b>	236.3

今週もほぼ全限一代安値の更新である。

当先のサヤは、7月限232.2円～12月限236.3円と**4.1円**の順ザヤ。順ザヤ幅に変化はない。

**週末現在の輸入採算価格は、7月積みで…中略…**

国内営業倉庫在庫は、6/10 現在で 1,053 トン減の 13,209 トン。4 旬連続の減少である。

上海ゴム在庫は、…中略…

上海ゴム価格は、安値では 16,800 元台まで下げていたが、18,000 元近くまでは戻した。

結論として当方の相場観は、中国のシャドウバンキング問題から戻しても売られると考えているが、今は 240 円台乗せが先か、225 円割れが先かが焦点だろう。

## 〔原油・石油製品〕

○NY 原油日足

…削除済み…

まずは原油から…

先週においては『基本的に原油価格は 100 ドルを突破するような急騰もなければ、80 ドル以下になるような暴落もないのであろう。かつてに比べれば高値保合いの相場と判断することが出来るわけで、やはり吹き値売り、突っ込み買いを基本に相場を組み立ててゆく事が肝要だろう。それは国内相場も同様だろう』とコメントした。

今週の相場展開は、NY 原油は 92.67 ドル (6/24) まで下落の後、4 連続の陽線で 97 ドル台まで戻した。週末 6/28 は、前日比 0.49 ドル安の 96.56 ドルでの終了であり、高値 97.82 ドルまで出したが、5 日ぶりの陰線となった。

相変わらず高値保合い相場というか、91~99 ドル台、もうちょっと大きく見れば 85~100 ドル台での相場からは抜け出せない。

6/28 現在のロンドンブレントは 109 ドル台、ドバイ原油は 99 ドル台である。結局は、大きくは下がらない。

また 6/25 現在のファンドのポジションは、…中略…

○東京原油日足

…削除済み…

今週の東京原油の動き

	6 月限(当限)	前日比	11 月限(先限)	前日比
6 月 24 日	¥61,240	-400	¥59,280	-1110
6 月 25 日	¥61,370	130	¥59,120	-160
6 月 26 日	¥61,390	20	¥58,990	-130
6 月 27 日	¥61,500	110	¥60,250	1260
6 月 28 日	¥61,510	10	¥61,040	790

東京原油は 58,400 円 (6/25) まで下落の後、週末は高値で 61,230 円まで切り返した。3,000 円近くは簡単に動くわけで、国内市場も為替動向の影響も受けながら、いきなりの乱高下の展開が続くそう。

よって 62,000 円を売り、58,000 円を買いというのが、順当な作戦だろう。

なお一代の動きは以下のとおり。

東京原油一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013 年 6 月	¥58,080	1 月 4 日	¥66,690	2 月 13 日	¥57,320	1 月 8 日	¥61,510
2013 年 7 月	¥62,910	2 月 1 日	¥66,460	2 月 13 日	¥57,780	4 月 18 日	¥62,000
2013 年 8 月	¥60,560	3 月 1 日	¥65,240	5 月 21 日	¥57,360	4 月 16 日	¥61,700
2013 年 9 月	¥62,370	4 月 1 日	¥65,100	5 月 21 日	¥57,370	4 月 18 日	¥61,480
2013 年 10 月	¥59,500	5 月 1 日	¥65,000	5 月 20 日	¥57,510	5 月 2 日	¥61,240
2013 年 12 月	¥60,370	6 月 3 日	¥62,050	6 月 5 日	¥58,040	6 月 14 日	¥61,040

結論として当方の相場観は、逆張り乱高下の展開が続くだろう。突発高を売り、突っ込みを買う短期作戦が良しと見る。

○東京ガソリン日足

…削除済み…

### 今週のガソリンの値動き

	7月限(当限)	前日比	12月限(先限)	前日比
6月24日	¥73,220	-720	¥70,910	-940
6月25日	¥73,000	-220	¥70,610	-300
	8月限(当限)	前日比	1月限(先限)	前日比
6月26日	¥72,360	-670	¥70,000	
6月27日	¥73,100	740	¥71,360	1270
6月28日	¥73,860	760	¥72,130	770

続いてガソリンです…

先週号においては『突っ込み買いの吹き値売りでの逆張り相場が続くだろう。ただしトレンドから判断すると、高いところを売る方に分があるとの判断である』とコメントした。

今週の相場展開は、4連続陰線で69,520円(6/27)まで下落の後、急騰して週末は72,000円台を回復。高値は72,590円(6/28)まであり、3,000円超の反発である。

チャートでは75,000円台が戻り天井であり、68,000円台が底値である。…中略…

なお一代の推移は、以下のとおり。

### 東京ガソリン一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013年7月	¥69,810	12月26日	¥82,280	2月13日	¥69,600	4月16日	<b>¥73,000</b>
2013年8月	¥76,550	1月28日	¥82,250	2月13日	¥69,600	4月16日	¥73,860
2013年9月	¥78,930	2月26日	¥79,590	3月12日	¥69,050	4月18日	¥73,180
2013年10月	¥74,630	3月26日	¥76,710	4月1日	¥68,150	4月18日	¥72,830
2013年11月	¥72,990	4月26日	¥75,590	5月20日	¥68,030	5月2日	¥72,520
2013年12月	¥71,760	5月27日	¥74,300	5月29日	¥69,450	6月14日	¥72,190
2014年1月	<b>¥70,660</b>	<b>6月26日</b>	<b>¥72,590</b>	<b>6月28日</b>	<b>¥69,520</b>	<b>6月27日</b>	¥72,130

6/28 現在の業者間転売価格は、…中略…

6/22 現在のガソリン在庫は、…中略…

結論として当方の相場観は、ガソリン自体に材料は無し。原油とともに逆張りの展開が続くと思われ、突っ込みは買っても吹き値は売りの対処が良いだろう。

○東京灯油日足

…削除済み…

### 今週の灯油の値動き

	7月限(当限)	前日比	12月限(先限)	前日比
6月24日	¥71,200	-1130	¥73,520	-970
6月25日	¥70,930	-270	¥73,020	-500
	8月限(当限)	前日比	1月限(先限)	前日比
6月26日	¥70,870	-360	¥72,860	
6月27日	¥72,370	1500	¥74,200	1340
6月28日	¥73,550	1180	¥75,320	1030

最後に灯油です…

先週号においては『まだ逆張りの展開が続くであろう。買いたいのは1月限が7万円以下の価格になった時だが、もしもそれが出ている時には、きっと市場は売り一色のムードになっている事だろう』とコメントした。

今週の相場展開は、4連続陰線で72,000円台まで下落したが、週末2日間で急反騰。一気に75,000円台まで戻した。

3,000円幅程度は簡単に動く相場ではあるものの、チャートは一目均衡表の雲を挟んでの横ばいである。…中略…

なお一代の推移は、以下のとおり。

### 東京灯油一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013年7月	¥68,440	12月26日	¥81,700	2月12日	¥67,320	4月18日	<b>¥70,930</b>
2013年8月	¥74,200	1月28日	¥82,030	2月12日	¥67,720	4月18日	¥73,550
2013年9月	¥76,550	2月26日	¥76,980	2月26日	¥68,340	4月18日	¥73,480
2013年10月	¥74,090	3月26日	¥77,270	4月11日	¥69,000	4月18日	¥73,940
2013年11月	¥75,350	4月26日	¥77,820	5月20日	¥69,850	5月2日	¥74,550
2013年12月	¥74,610	5月27日	¥77,240	5月29日	¥71,580	6月14日	¥75,130
2014年1月	<b>¥73,900</b>	<b>6月26日</b>	<b>¥75,460</b>	<b>6月28日</b>	<b>¥72,650</b>	<b>6月27日</b>	¥75,230

6/28 現在の業者間転売価格は、…中略…

6/22 現在の灯油在庫は、前週比6.9万k1増の186.7万k1。在庫は増加中であるが、前年同期比ではまだ21.9万k1少ない水準であり、徐々に増加して行くのだろう。

灯油と成分が似ているジェット燃料在庫は、まだ過剰であり前年同期比では20.6万k1多い。一方で軽油は27.1万k1少なく、製品によって在庫にばらつきがある情勢だ。…中略…

結論として当方の相場観は、先物に需要期が建っている関係上、突っ込み買い狙いが本命との判断ではあるものの、中途半端なところではまだ買いたくない。様子見であろう。

## [為替・株式]

### ○ドル/円相場日足

…削除済み…

103.73 円 (5/22) →93.79 円 (6/13) まで 10 円ほど円高となった後、週末は 98 円台後半まで戻して引けている。更に NY タイムでは、99 円台まで円安が進んでおり、99.42 円を記録している。

円安は商品市場にも、株式市場にも買い材料だ。さて、100 円台を突破出来るかどうか？

なお来週の主な予定は、

…中略…

などである。独立記念日もあるわけで、なんか相場が荒れそうな予感。

### ○ユーロ/円相場日足

…削除済み…

ユーロ/ドル相場は、6/19 以降にいきなりドル高/ユーロ安が進んだわけだ。NY 金の急落の原因は、この辺りにもあるのだろう。

現在は、ちょうど一目均衡表の雲で支えられたところ。これを割ってゆくドル高になるようなら、また商品市場に対する考え方も変えねばならぬだろう。つまりは、当方が底を打ったとする金相場も一段の下げに見舞われる可能性があるという事だ。

### ○日経 225 日足

…削除済み…

週末の 1 本だけ入っていないが、13,677 円で終了の後、シカゴは 13,695 円で終了している。NY ダウは 100 ドル超安かったが、日経平均先物は 13,780 円まであって、確りしている。

チャートではここからが上値抵抗を受けるところであるが、逆に抜けて行ったら調整完了確認という事にもなるわけだ。

---

このレポートは、私が個人的な判断で書いたものです。

内容の責任はすべて私に帰するものですが、取引に対する利益を保証するものではありません。

(当たり前ですが念のため)

ひげの中ちゃん相場情報

中田幸一郎

メールアドレス [info@higenaka.com](mailto:info@higenaka.com)